

# 室蘭港大規模地震・津波総合防災訓練を実施

## ※油拡散訓練

大規模災害時において、港内に浮遊した揮発性の高い油は、油回収した後も取りきれず水面に残ってしまいます。このため、この油を放水や船の航走によって攪拌し、揮発させる必要があります。港内の海面上に油が浮遊している状況を想定し、巡視船による海面放水拡散及び巡視艇による航走拡散処理の訓練を行いました。



令和4年10月8日（土曜日）、室蘭港で北海道開発局 港湾空港部・室蘭開発建設部・室蘭市の主催による防災訓練を実施しました。訓練は三陸沖北部を震源とする地震により室蘭市で震度6弱の揺れを観測し、最大5.3メートルの津波が押し寄せるという想定で行われ、室蘭海上保安部や室蘭警察署など16の機関・団体から約130名が参加し、避難訓練、広域海上点検訓練、油回収訓練、被災状況調査訓練、油拡散訓練、港湾巡視訓練、航路啓開訓練、漂流者捜索・救助訓練、緊急支援物資輸送訓練の9項目の訓練を2時間に渡り実施しました。



# 関係機関との連携を確認

## 広域海上点検訓練



津波による災害規模を把握するため、海上保安庁ヘリコプターでの港湾施設の被害状況や油流出の状況把握を上空から調査する広域海上点検訓練

## 港湾巡視訓練



港湾施設の被害、油流出や海底に障害物がないか、室蘭開発建設部所属の港湾業務艇「みさご」による巡視訓練

## 被災状況調査訓練



目視点検で岸壁の被災が確認されたことを想定し、北海道開発局の要請に基づき、連携する関係団体によるドローン等を活用して被災状況を調査する訓練

## 避難訓練



警察による避難指示の呼び掛け等の訓練

## 油回収訓練



大量の油が室蘭港に流出したことを想定した、国土交通省北陸地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「白山」による油の回収訓練

## 緊急支援物資輸送訓練



緊急支援物資が必要な被災地域が発生したことを想定し、自衛隊と連携した物資の輸送訓練

## 漂流者捜索・救助訓練



海上保安庁及び消防との連携による漂流者の捜索・人名救助の訓練

取材を受け..

北海道開発局 星道太空港・防災課長



「室蘭は太平洋に面し、津波の被害が出ると想定されているので、災害が起きたときにしっかり対応出来るように日頃から関係機関との連携を積み重ねていきたい」とコメントしました。

## 令和4年度 室蘭開発建設部 DIG演習



令和4年11月18日(金)室蘭開発建設部において、大規模災害を想定した図上訓練を実施しました。この訓練及びロールプレイング方式の訓練は毎年実施しており、職員が日頃から災害に対するための規則・役割分担を学び、もしもの時に備え訓練を重ねています。